



地方自治体のガバナンスに関する総合政策的研究

[キーワード：市民参加、協働、住民自治、地方議会]

准教授 小田切康彦

〈研究の概要〉

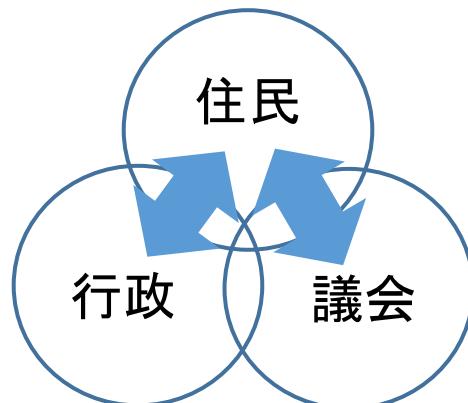
地域社会のなかで行政や議会がどのような役割を果たすのか、また、地域住民がどのように政治や行政に関わるのか、ガバナンスの視点から下記の研究に取り組んでいる。

(1) 住民と行政との関係について

- ・市民参加・協働のプロセスと影響に関する研究
- ・サードセクターの構造と公共的役割に関する研究
- ・コラボレイティヴ・ガバナンスの理論的研究

(2) 住民と議会との関係について

- ・地方議会改革の実態と課題に関する研究
- ・地方議会の情報公開とオープンデータに関する研究



〈主要研究業績〉

- ・小田切康彦(2017)「協働－官民関係は何をもたらすのかー」坂本治也編著『市民社会論: 理論と実証の最前線』法律文化社
- ・小田切康彦(2014)『行政－市民間協働の効用: 実証的接近』法律文化社
- ・Aya Okada, Yu Ishida, Takako Nakajima and Yasuhiko Kotagiri (2017) The State of Nonprofit Sector Research in Japan: A Literature Review, *Voluntaristics Review*, Vol.2, No.3, 1–68.
- ・小田切康彦(2016)「協働・ネットワークの評価－パフォーマンス評価の枠組みに着目してー」『季刊評価クオータリー』Vol.39, 2–16.

〈地域(行政)、NPOや企業との連携・共同研究実績〉

- ・滋賀県NPO法人の実態及び支援ニーズに関する調査、公益財団法人淡海文化振興財団、2011年度～2012年度

〈地域(行政)、NPOや企業と連携・共同研究可能なテーマ〉

- ・自治体改革、ガバナンス、市民参加・協働、行政評価、自治体職員研修、住民ニーズ調査等

専門分野 : 公共政策学、地方自治論

E-mail: yas-kot@tokushima-u.ac.jp

Tel : 088-656-7187

Fax : なし

詳細情報 : <http://pub2.db.tokushima-u.ac.jp/ERD/person/277297/profile-ja.html>